

稲門女性ネットワークによる現役女子学生のためのキャリア支援

第8回未来の自分を発見しよう

OGのパネルディスカッションが開催されました

2012年10月13日（土）、本学学生会館キャリアセンターセミナールームにおいて、稲門女性ネットワーク（略称TWN）・本学キャリアセンター共催、本学男女共同参画推進室協賛による表記イベントが開催され、50名を超える学生の参加がありました。

就職・生き甲斐・キャリアアップ、結婚・出産・子育て、仕事と家庭の両立等について、社会の第一線で活躍されているOGとのディスカッションを通して学び、「わたしの未来図」を描こう！という趣旨で、TWNのご厚意によるこのキャリア支援行事は、今年で8回目を数えます。

今回は、専門商社、新聞社、損害保険会社、小売業、教育支援会社と、現役でご活躍の5名のゲストスピーカーが、後輩のために忌憚なく語って下さいました。

第1部のパネルディスカッションでは、石井由紀TWN幹事長の進行で、会社や業種をどう決めたか？ 入社してみてこれは違ったと感ずることは？ 転職を考えたことは？／どのように転職をしたか？ 学生時代のすごし方、やってきたこと、やっておいたほうが良いことは？ といった、キャリア形成や就職を考えるにあたって、まさに聞きたい内容について質問がくり出され、各パネラーから忌憚のない回答がありました。

会社とはどういうところか、入ってみてのギャップはという質問には、「仕事の内容として学生時代には華やかな表舞台である部分しか見えていなかった。入ってみて裏方やその大切さを学んだ」「一緒に働く先輩や上司、同僚に対しては本当に恵まれていてギャップはなかった」という意見が並び、会社選びにおいて仕事の内容もちろん、「人」の部分に焦点を当てた意見を多数いただきました。

また、学生時代の過ごし方はどうだったか、やっておけばよかったと思うことは？ という問いには、「興味のあることに積極的に挑戦し、自分の引き出しをたくさんつくる経験をしておくとよい」「お客様としてまたは職場で出会う多様な人を受け容れられる柔軟さをもてるように」「相手の気持ちに敏感になれるように、多種多様な人との付き合いを深めること。年齢差のある方や親御さんと話すのもその一助である」「これからは国籍も超えて幅広い人との付き合いが増えてくる。学校でも留学生の方々とも積極的に交流をし、グローバルな感覚を磨くと良い」といった、アドバイスがなされました。

◇TWN稲門女性ネットワークとは◇

1995年設立、早稲田大学で唯一、女性だけの稲門会です。

- (1) 現役女子学生への奨学金贈呈
- (2) 現役女子学生へのキャリア支援活動
- (3) 留学生支援活動
- (4) 早稲田大学出身女性の交流活動

以上の4本柱を活動の目的とし、社会に羽ばたいていく現役女子学生にエールを送り続けています。